

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 加古川

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>当所では、昨年度デジタルツールを活用し、食育推進の体制整備を図る試みを実施した。また、管内市町栄養士とデジタルツールを活用した食育活動状況を共有し、関係機関の活動のため情報交換を行った。</p> <p>引き続き、デジタルツールを活用した情報発信を行うとともに、デジタル化に対応した食育推進に効果的な方法を検討し、食育に興味関心の薄い人も参加しやすい環境づくりを進める必要がある。</p> <p>また、朝食摂取の必要性等、食の大切さを広く普及するため、関係団体と幅広く連携・協同し、ネットワークを築きながら推進する必要がある。</p>
今年度の推進方策	<p>食育推進のための体制整備</p> <ul style="list-style-type: none">・地域住民が利用する場所で、デジタルツールを活用し、食に関する情報を発信。・管内の食の健康協力店の情報を地図化しホームページで情報発信。 <p>若い世代を中心とした健全な食生活の実践</p> <ul style="list-style-type: none">・公民連携事業「HYOGOアサ@プロジェクト」に参画し若い世代の食育力の強化を目指す。
成果	<ul style="list-style-type: none">・デジタルツールを活用し、食育推進の体制整備を図ることができた。昨年度に引き続き管内市町食育担当者とデジタル食育の充実について検討できた。・HYOGOアサ@プロジェクトに参画することで、高校生に対し朝食摂取の必要性について啓発できた。地元食材（大麦）を使った商品開発を通じ、管内企業、農林水産振興事務所とも繋がりができた。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・デジタルツールを活用した食育体制整備を図ると共に、様々なデジタルツールを活用し、食育推進に有効な方法を検討していく。・HYOGOアサ@プロジェクト等を通じてつながった団体・企業との連携強化を図る。

2 会議の開催状況

実施日時	令和6年3月4日（月）15:00～17:00
構成員 （団体数 及び人数）	管内各市町食育所管課栄養士 計 4機関・5名
協議内容	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度実践活動の報告・各市町の取組状況について情報交換
今後の方策	引き続き、デジタルツールを活用した食育体制整備を進め、世代に配慮した情報提供の工夫や、無関心層に対する食育推進に有効な方法を検討していく。

3 食育実践活動の結果

テーマ	1 デジタルツールを活用した食育推進の体制整備 2 若い世代を中心とした健全な食生活の実践		
対象及び参加者数	①② 加古川総合庁舎 1階かこむ利用者 ※人数は未把握 ③ 県立農業高等学校 延べ165人 ④ 大麦生産者、JA兵庫南、県立農業高等学校 80人		
事業内容	日時・場所	内容	講師・運営スタッフ
	① 令和6年2月～	加古川健康福祉事務所管内の食の健康協力店を地図化。県ホームページに掲載し情報発信。	当所栄養士
	② 令和5年10月、11月、令和6年2月 加古川総合庁舎内	幅広い年代が利用する「かこむ」（加古川総合庁舎内）付近に設置しているTVモニターを活用し、食や健康に関する情報を発信。 10月：ひょうご食育月間 11月：朝食摂取啓発 2月：食の健康協力店PR	当所栄養士
	③ 令和5年5月～11月 県立農業高等学校	・HYOGOアサ@プロジェクトに参加し朝食摂取の啓発 ・朝食向け商品開発の助言、支援	当所栄養士
④ 令和5年12月18日 にじいろふぁーみん	食育啓発資料の展示	当所栄養士	
成果	<ul style="list-style-type: none"> デジタルツールを活用した食育情報の発信頻度を増やすことができた。 管内市町栄養士とデジタル食育の実施状況について共有し、活動の充実につながる情報交換ができた。対象者の特性に合わせたSNSツールやアプリの活用については、広報担当や庁内関係課との連携強化も必要である。 HYOGOアサ@プロジェクトにおいて若い世代（高校生）に対し朝食摂取の必要性や県民の朝食摂取の現状について講話を実施。合わせてバランス良く食べることの重要性等についても啓発し、高校生が考案する朝食向けの商品開発に役立てることができた。また、地元食材（大麦）を使った商品開発を通じ、管内企業、農林水産振興事務所とも繋がりができた。農林水産振興事務所から声かけがあり、同所が所管する事業でも食育啓発の場を得た。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> デジタルツールを活用した食育体制整備を図ると共に、世代に配慮した情報提供の工夫等も含め、食育推進に有効な方法を引き続き検討していく。 今年度事業で繋がりができた団体・企業との連携強化を図る。 		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

取組②

食育に関する情報を発信

幅広い年代が利用する「かこむ」(加古川総合庁舎内)付近に設置しているディスプレイを活用し、食育に関する情報を発信。



取組③

若い世代の食育力の強化

公民連携事業「HYOGO アサ@プロジェクト」に参画し、朝食摂取のメリット、県民の現状、バランスよく食べるコツ等をお伝えし、製品化まで助言、製品 PR に協力した。



食育推進会議

管内各市町栄養士とデジタルツールを活用した効果的な食育の推進について情報交換を実施。



今後の方向性

- ・引き続き、デジタルツールを活用した食育体制整備を図ると共に、様々なデジタルツールを活用し、食育推進に有効な方法を検討していく。
- ・HYOGO アサ@プロジェクト等を通じてつながった団体・企業との連携強化を図る。